

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計動向 関連 (四国)	良くなる やや良くなる	-	-	
		商店街（事務局長）	・夏ごろに発売されるプレミアム付商品券に注目が集まり始めており、今年後半の消費活性化に期待が高まっている。	
		商店街（代表者）	・文化ホールを核とした市街地再開発事業がスタートするほか、産官民の協調体制が徐々に効果的な街づくりの推進につながりつつある。	
		商店街（代表者）	・7月からプレミアム付商品券が使用可能になると、消費が喚起される。また、商店街内の大型商業施設が8月末にしゅん工するので、かなりの集客が期待される。その結果、商店街の環境が良くなり、消費マインドも上向くと見込んでいる。	
		スーパー（店長）	・消費税増税の影響が徐々に薄れてきている。気温が高くなると、季節商材などの販売が進み、景気の好循環につながる。	
		乗用車販売店（役員）	・5月の新車販売は伸びなかったが、受注量は前年並みを確保できた。7月以降に新車の投入等があるため、6～7月は受注が増えるだろう。	
		乗用車販売店（営業担当）	・昨年の消費税増税による反動減は、6月には回復傾向に向かったことから、今後を期待している。	
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・3～8月が一番良く売れる時期であり、少しずつ景気は良くなっている。	
		タクシー運転手	・6月は梅雨の影響で客足が鈍るが、7～8月は企業の株主総会などが終わって、飲食の頻度が高まるほか、季節が良くなるので、人の動きも良くなっていく。	
		通信会社（営業担当）	・夏モデルの発売により、上向くと思う。	
		通信会社（営業担当）	・新モデルの発表と共に、夏商戦の買換え需要が高まる。	
		通信会社（支店長）	・夏モデルの発売やボーナス商戦を迎えることから、景況感はよくなるのではないかと。ただ、更なる円安や天候不順の予想もあり、予測は難しい。	
		設計事務所（所長）	・店舗や工場の計画の話が、若干増えてきている。	
		住宅販売会社（従業員）	・現在の来場者数や商談中の顧客の数からみると、受注棟数は増加すると考えられる。	
		変わらない	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・来客数、購買点数共に、変化がみられない。
			一般小売店〔生花〕（経営者）	・店頭では高額商品の動きは鈍く、安い商品が売れている。予約は例年並みであり、あまり変化がない。
			一般小売店〔乾物〕（店員）	・良くなるというイメージが全く持てない。
			百貨店（営業担当）	・4月に比べると、伸び悩んでいる。
			百貨店（販売促進担当）	・食品などのデイリー商材は堅調に推移しているが、衣料品や高額品の回復が遅れている。
スーパー（企画担当）	・食品の原材料値上げの影響が続き、売上高は伸びてみえるが、来店客数は横ばいか微減になる。			
スーパー（財務担当）	・実質賃金が上昇するまでは、節約志向が続く。			
コンビニ（店長）	・現状より良くなるイメージはない。客数は回復傾向だが、単価は減少しており、節約志向は根強い。			
コンビニ（店長）	・消費税増税後、コンビニ業界は依然として改善の兆しが見えない。			
コンビニ（総務）	・天候や気温に大きく左右されるが、売上が伸びる要因は見当たらない。			
衣料品専門店（経営者）	・梅雨に入る6月は、大きな需要期でもなく、また、バーゲン月の7月を控えているため、厳しい状況が予想される。			
家電量販店（店員）	・天候によってはエアコン等がけん引役になる可能性もあるが、他商品の販売量低下をカバー出来るほどではない。			
乗用車販売店（従業員）	・地方の中小企業では賞与支給額が前年を上回れることは期待出来ず、景気が良くなるとは思えない。			
乗用車販売店（従業員）	・株高は車の売れ行きに影響はない。地方は未だ好景気の影響すら見えない。			
乗用車販売店（従業員）	・客の動きにさほど変化は見られない。しばらくこの状況が続くそう。			
住関連専門店（経営者）	・消費税増税による駆け込み需要の後は、厳しい状況が続いている。今後も同じ状況が続くことが見込まれる。			
その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・賃金アップの実感に乏しく、現状がしばらく続くと見ている。			
旅行代理店（支店長）	・夏の旅行需要最盛期を前に、北陸方面や首都圏方面への国内旅行需要は堅調に推移しているが、単価の高い海外ロング需要の落込み分をカバーしきれない状態が続く。			

		通信会社（企画）	・客の反応は4月より若干悪くなっているように感じられるが、さらに悪くなるようにはみえない。
		観光遊園地（職員）	・円安が進んでいるため、変わらないと判断。
		美容室（経営者）	・消費マインドの上向きが全く感じられない。
	やや悪くなる	衣料品専門店（経営者）	・来客数の動きは悪く、今後さらに厳しくなりそうだ。
		衣料品専門店（経営者）	・円安の影響で原材料費が上がり、商品等の値上げが起きている。
		観光型旅館（経営者）	・6～8月までの予約状況は、昨年と比べ少し落ちている。売上に占める割合の大きいプライダグや会議等もあまり良くない。今のところはあまり期待できない。
		ゴルフ場（従業員）	・来場者は減少し、単価は下落している。3か月後の予約状況も、昨年と比べて非常に悪い。
		競艇場（職員）	・8月には女子の大きなレースを控えているが、その他には大きなレースもなく、本場開催日も少ないため、売上増は期待できそうにない。
	悪くなる	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・量販店やディスカウント店には価格面で太刀打ち出来ず、毎月どう乗り越えようか必死である。
		タクシー運転手	・5月をもって四国八十八箇所霊場1200年記念のイベントが全て終了するので、街での仕事がメインとなり、今ほどの売上は確保できず、悪くなる。
企業 動向 関連	良くなる	食品品製造業（商品統括）	・食品業界においても、賃金は高騰しているにもかかわらず、人手が集まらない状況にある。
(四国)	やや良くなる	繊維工業（経営者）	・今の流れが当分続くだろう。
		木材木製品製造業	・全体的な見通しとして、受注量は回復していくと見ているが、木質素材・硝子・金属類の原材料価格が上昇気味にあることを懸念している。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・今後、もう少し売上が上昇するだろう。売上が伸びれば、利益も上昇すると考えられる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・自治体から、再生可能エネルギーに関する問い合わせが増えている。また、「地方創生」事業の計画立案に参画することが多くなっており、将来的な受注につながると考えている。
		電気機械器具製造業（経理）	・主力製品の受注状況が微増傾向にある。ただし、市場のデマンドについては急激な拡大はないと判断しており、慎重に推移を見守っている。
		金融業（副支店長）	・業績の回復により賃上げする企業が増加傾向にあり、消費マインドも徐々に良くなっていくだろう。
	変わらない	鉄鋼業（総務部長）	・今以上に良くなる要因が見当たらない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・海外は地域によって需要のバラツキが大きいので、原油価格動向の影響と併せて注視している。
		建設会社（経理担当）	・繰越工事と営繕工事のみで利益は見込めず、景気は変わらない。
		建設業（経営者）	・県や市の当初予算をみると、見通しは非常に暗い。
		輸送業（営業）	・夏場は青果物の閑散期にあたり、季節商材の動向が取扱物量を大きく左右する。例年の売上が望めるかどうかは天候次第で、景気低迷による消費者の購買低下と合わされば、経営に深刻な打撃を及ぼすことは必至である。
		通信業（総務担当）	・特に変動要素は無い。
		通信業（部長）	・引き合いの数は増えているものの、受注件数は変わらない。今後もこの傾向が続くと考える。
		広告代理店（経営者）	・売上が依然低調なため、販売促進費を削減する傾向にあるという話を聞く。
		公認会計士	・宿泊客数の増加や土地の値段が上昇している一方、設備投資にそれほど積極的になっていない状況より、大きく景気は変わらないと判断した。
	やや悪くなる	建設業（経営者）	・例年より仕事が出遅れており、ここ数か月は、手持ち仕事量が減る一方で、厳しい状況が続く。第2四半期から第3四半期は、発注、受注、売上増となることを期待している。
		輸送業（支店長）	・好景気の影響はない。現状の原油安で業績は確保できているが、円安の更なる進行や原油単価上昇となれば、経営のダメージは大きい。
	悪くなる	-	-
	良くなる	-	-
雇用 関連	やや良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・公共事業やオリンピックによるビジネスチャンスが増え、地方にもその恩恵が波及してきているように感じる。
(四国)		人材派遣会社（営業）	・夏季賞与シーズンでの景気回復が期待される一方、経営状況により店舗を閉鎖する企業が増えており、雇用に与える影響を心配している。
		求人情報誌（営業）	・引き続き、印刷物・広告・看板等への投資を行う企業が増えており、景気回復が予想される。

	新聞社 [求人広告] (担当者)	・ 公共料金の負担増やガソリン価格の値上がりなど消費マインドを刺激する材料は乏しいが、クライアントの積極的な販促活動でそろそろ消費が掘り起こされると考えている。
変わらない	職業安定所	・ 多くの事業所で今後横ばいで推移していただろうとの回答を得た。
	職業安定所 (職員)	・ 人手不足感はあるが、先行きの不透明さからパートや臨時雇用が採用の中心となっている。
	民間職業紹介機関 (所長)	・ 来春の採用計画について、まだ方針を打ち出せていない企業も多く、第 1 四半期の様子を見てから採用計画を立てるのではないかと。
やや悪くなる	人材派遣会社 (営業担当)	・ 派遣法改正など雇用の先行きを懸念する動きを受け、少し求人を控えるケースがあり、景気は低下傾向にある。
	求人情報誌製作会社 (従業員)	・ 夏休みやお盆の時期に入り、求人数の減少が予想される。
悪くなる	-	-